

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	今後直面することが明らかな終末期ケア・ターミナルケアについて理解が乏しい。	終末期ケア・ターミナルケアとは何かを理解し、いつでも実践できる。	終末期ケア・ターミナルケア研修、勉強会を実施し、理解を図る。 終末期ケア・ターミナルケアを実施するに当たっての障害となるもの、足りないもの、必要なものを可視化してひとつずつ取り組む。	6ヶ月
2	2	地域との交流がまだまだ少ないと思う。	地域社会の中で、地域社会の一員として隔たりを感じることなく、生活できる。	地域の活動(自治会活動等)、クリーンキャンペーンなどへの参加を入居者様と共に行う。 地域の他社会福祉施設等への訪問などをして交流を図る。	10ヶ月
3	35	非常災害時に備えて、地域の方々との協力関係を築いておくこと。	消防立ち会いの避難訓練時に地域の方々にも参加していただくようにする。	年2回の消防訓練時に、近隣の方々へ呼びかけて避難訓練への参加を求めて、非常災害時の協力かけいを築くようにする。	6ヶ月
4	8	日常生活自立支援事業、成年後見人制度等権利擁護に関する認識が低い。	権利擁護について理解する。	権利擁護についての研修会、勉強会を開催して職員に認知を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。